

「若手社員と語る！ひろしまの情報職種お仕事座談会」の実施結果について

1 要旨・目的

県内大学の学生が、IT 企業だけでなく、多様な業種におけるデジタル分野の仕事及び働き方への理解を深め、県内就職への関心を高める契機とするため、ひろしま DX 人材育成奨学金とひろしま AI 部※の連携による初の交流イベント「若手社員と語る！ひろしまの情報職種お仕事座談会」を実施したため、その結果を報告する。

※ひろしま AI 部

産学官の連携により、高校生が AI を理解し、活用する力を身に付ける機会を提供する教育プログラム。デジタル活用を実践している企業等 47 社が参画

2 概要

(1) 実施内容

開催日	令和8年6月20日(土)12:00～14:00
場所	Hiromalab (広島市中区銀山町3番1号 ひろしまハイビル21 17F)
定員	定員 30 名
イベント参加学生の所属大学	ひろしま DX 人材育成奨学金対象9校のうち、次の大学 広島大学、広島市立大学、近畿大学広島キャンパス、広島工業大学、安田女子大学、県立広島大学
参加企業数	7 社 オタフクソース株式会社、西川ゴム工業株式会社、復建調査設計株式会社、株式会社広島銀行、ひろぎん IT ソリューションズ株式会社、株式会社ヒロテック、株式会社ラキール呉
主催	ひろしま AI 部運営コンソーシアム
内容	仕事の紹介など (例) データを活用したマーケティング データを元に仮想空間に現実世界を再現する技術を活用した開発

(2) 実施結果

- ・参加学生数：38 名
- ・内訳

	学部				修士	
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年
学生数	8 名	7 名	16 名	5 名	2 名	0 名
うち DX 奨学金貸与者	0 名	6 名	13 名	3 名	0 名	0 名

(3) 参加学生アンケート結果

- ・アンケートを回答した学生 35 名のうち 34 名の学生が「期待に応えるイベントだった」と回答。
- ・情報職種等に関するイメージが次のとおり変化したとの声が多く出た。
 - －「広島県内に活躍できる情報職種がたくさんあると知った」
 - －「情報職種への興味・関心がさらに高まった」
 - －「広島県内企業の魅力や将来性について深く理解できた」
 - －「広島県内で情報職種として働きたいと思った」
- ・アンケートを回答した 35 名のうち 33 名の学生が、インターンシップや合同企業説明会への参加、企業研究を開始したいなど具体的に行動したいと感じたと回答。

(4) 参加企業アンケート結果

- ・企業が参加した最大の理由である「情報職種の魅力を直接学生に伝えたい」について、86%の企業が期待どおりの成果が得られたと回答。
特に、職種を限定したイベントの例は少なく、斬新だったとの声があった。
- ・全ての企業が、今後もイベントへの継続参加を検討したいと回答。

(5) 成果と課題

【成果】

- ・企業の DX 推進を牽引する人材の育成・確保に向けて、イベントの対象職種を情報職種に絞って実施した結果、学生ニーズと企業の採用ニーズが合致し、学生・企業ともに高い満足度が得られた。

【課題】

- ・全学年を対象としたため、学生の就職活動のステージが異なり、企業側から「自社の魅力を伝えにくかった」との意見もあった。
- ・一部の企業から「県内大学生であっても、地元志向や広島への思い入れが限定的であった」との意見があった。

(6) 今後の取り組み

今回のイベントが学生及び企業から好評だったことから、今年度秋～冬に引き続き開催する。

なお、実施にあたっては、次のとおり改善する。

- ・対象を 1～2 年生に絞り、早期に県内企業の情報職種の魅力を伝えることで、広島への思い入れを醸成。
- ・学生が次年度以降のインターンシップや就職活動へ主体的に取り組むよう、動機づけを行う。

3 予算

34,500 千円の一部（単県）